

【事業名】地域災害拠点病院における複合再生可能エネルギー面的導入事業

(1) 事業概要

主な事業者	(株)シーエナジー・諏訪赤十字病院・諏訪市
事業地	長野県諏訪市湖岸通り五丁目11番50号
施設名称	日本赤十字社 諏訪赤十字病院
延床(施工)面積	34,813㎡
主に利用する再・未 利用エネルギー	地中熱、下水熱、空気熱、廃熱利用
主な導入設備	空気熱利用HP216RT (空調・給湯用) 地中・下水熱HP 150RT ・廃熱利用HP30RT
事業期間 (稼働予定)	2016年9月～2018年3月 (2018年4月稼働予定)
省エネ効果見込	省エネ量：255kL/年、省エネ率：47%

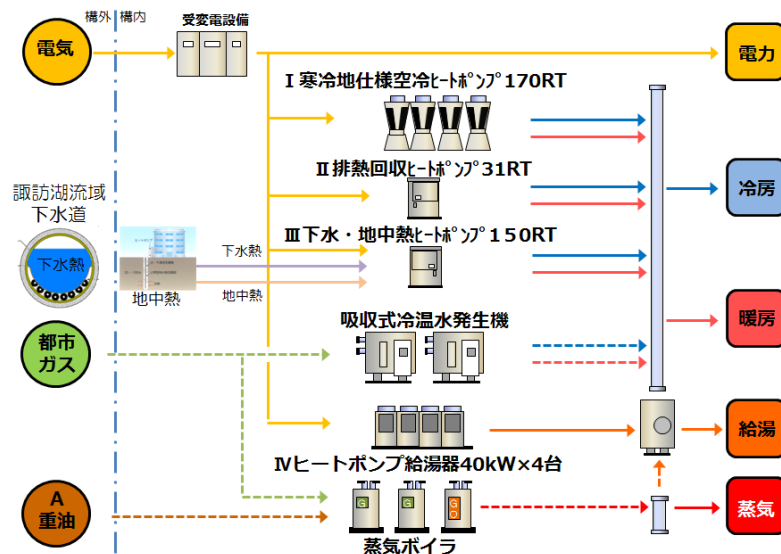
(2) 事業の特徴

- 地域災害拠点病院として、高度医療に対応する為、BCP対策と省エネの両立を図る設備として、複数の再生可能エネルギー・複合熱源設備を導入します。
- 温泉地域での効率的な「地中熱」や、近隣7市町村(約590km²)の排水が流れる「下水熱」、寒冷地でも運転可能な「空気熱」利用HPなど、諏訪市の地域特性に応じた再生可能エネルギーを面的に利用します。

(3) 導入効果

- 化石燃料燃焼方式(吸収式冷温水機・ボイラ)と比較して、47%の省CO₂削減を見込みます。
- 「下水管路」からの採熱は、特に寒冷地域でのビジネスモデルとして、地域全体への波及・普及が期待できる。

(4) 事業イメージ



(5) 面的利用概要

